

空家等の現状・人口の状況について

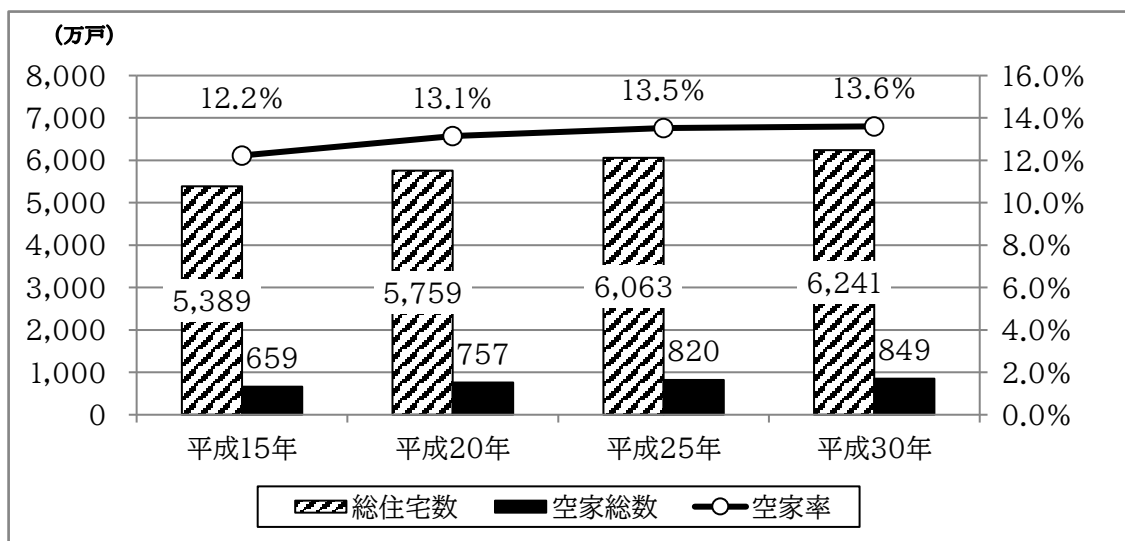
1 空家等の現状

(1) 国及び県の状況

全国の空家総数は、住宅・土地統計調査 ※によると、平成30年には約849万戸となっています。また、空家率(総住宅数に占める空家等の割合)も、平成25年の13.5%から増加し、平成30年は13.6%となっています。

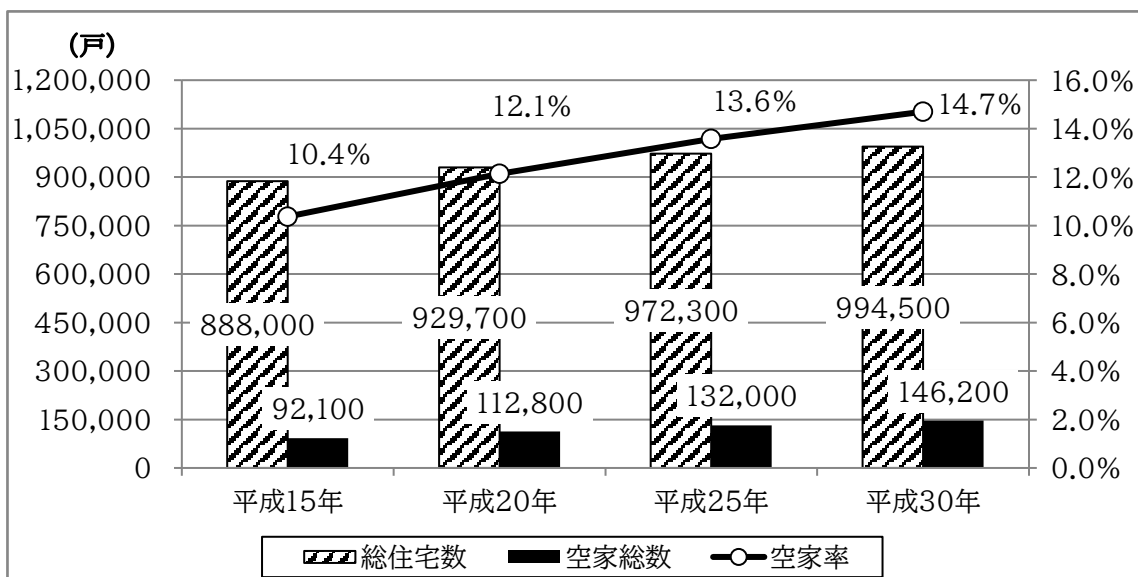
また、新潟県の空家等の推移を見ると、平成25年の132,000戸から平成30年には146,200戸と増加しています。空家率についても同様に、平成25年の13.6%から年々増加し、平成30年は、14.7%となっています。

【全国の総住宅数、空家数及び空家率の推移】



出典：「住宅・土地統計調査結果」(総務庁・総務省統計局)

【新潟県の総住宅数、空家数及び空家率の推移】



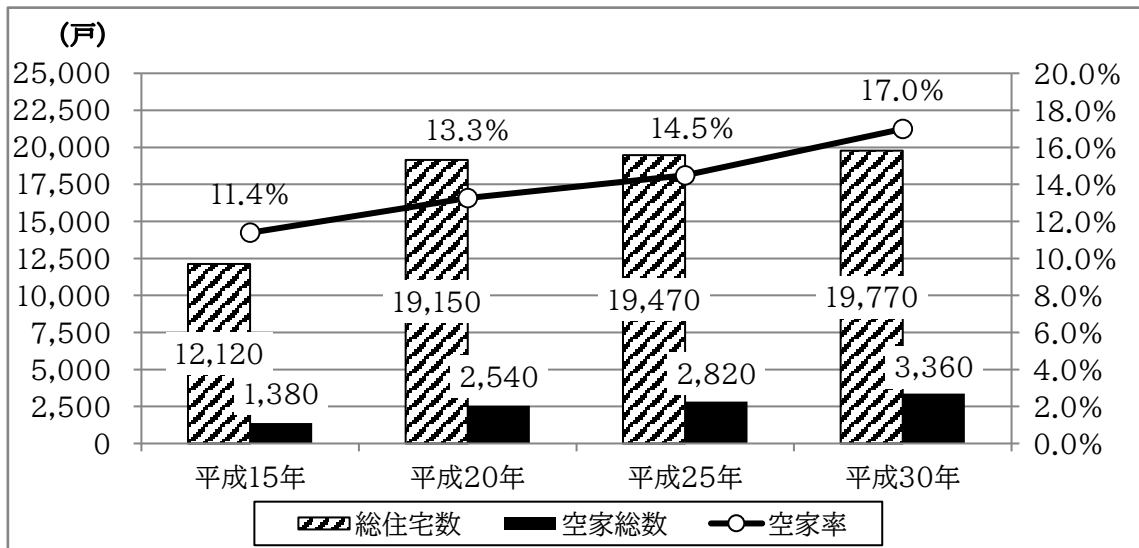
出典：「住宅・土地統計調査結果」(総務庁・総務省統計局)

(2) 系魚川市の状況

ア 住宅・土地統計調査

系魚川市の空家数は、平成30年で3,360戸、空家率は17.0%と増加傾向にあります。空家率は、全国及び新潟県と比較して高くなっています。

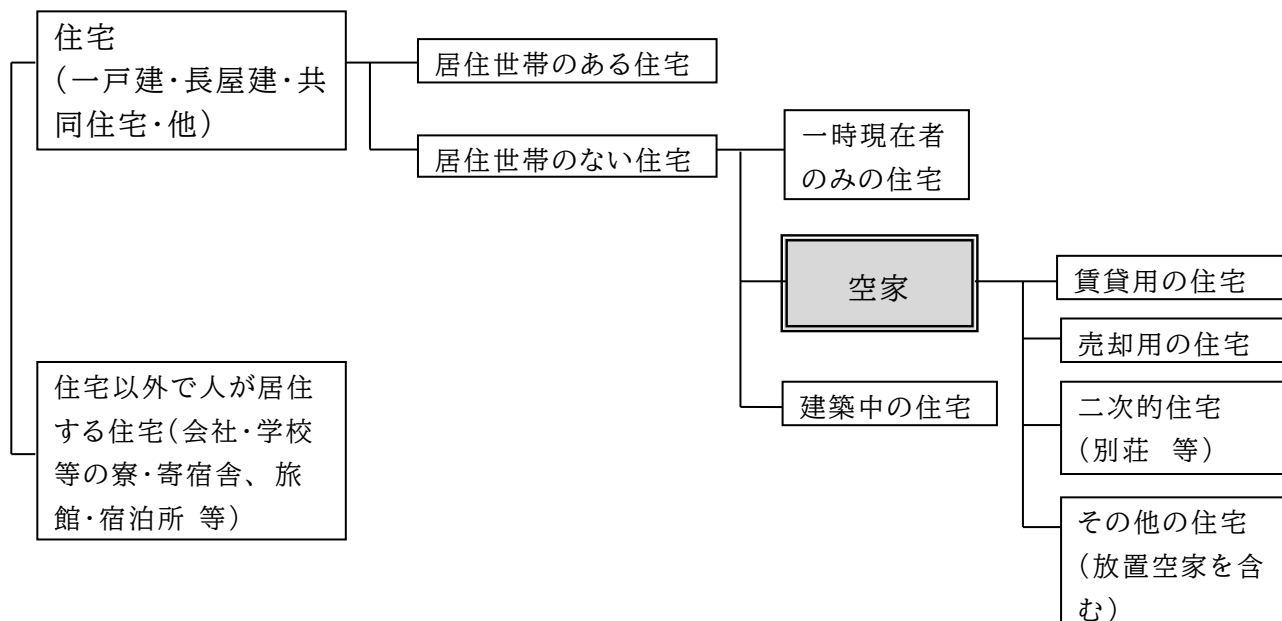
【系魚川市の総住宅数、空家数及び空家率の推移】



出典:「住宅・土地統計調査結果」(総務庁・総務省統計局)

※ 住宅・土地統計調査は、5年ごとに国が行う調査で、全国から抽出された調査区の建物を外観調査し、空家等の判断をします。調査結果の全数を推計し、集計することで、住宅とそこに居住する世帯の居住状況などの実態を把握し、その現状と推移を明らかにする調査です。

≪ 参 考 ≫ 住宅・土地統計調査による住宅の種類



イ 国勢調査

平成 22 年から平成 27 年にかけて、住宅を所有する(持ち家)世帯の総数は 251 世帯減少していますが、65 歳以上の単身世帯は 231 世帯、65 歳以上世帯員がいる二世帯は 294 世帯増加しています。

【住宅を所有する世帯数】

(単位:世帯)

	H22	H27	差
一般世帯	14,094	13,843	△251
65 歳以上の単身世帯	1,735	1,966	231
65 歳以上世帯員がいる二世帯	3,427	3,721	294

出典:国勢調査

ウ 令和2年度糸魚川市空家実態調査

(ア) 調査の目的と概要

糸魚川市全域における適切な管理が行われていない空家等が、周辺環境に悪影響を及ぼすことについて、未然に防ぐ対策を検討・実施すること及び利活用可能な家屋であるかを判断するため、基礎資料の作成を目的として、空家等の実態調査を実施しました。

平成27年度調査結果と令和元年度事前調査の資料より空家等候補を抽出し、外観目視による現地調査を行い、調査結果は空家等管理データベースとして整理しました。

(イ) 空家実態調査の結果

調査を行った全970件のうち、211件が「不良度高(老朽化しており、大規模な修繕が必要)」、187件が「特定空家相当(保安上危険又は衛生上有害のおそれがある状態)」と判定され、5年前の調査と比べて「特定空家相当」が8.2ポイント増加しました。能生地域においては、空家総数の増加は少ないですが、特定空家相当は22ポイント増加しており、経年劣化による不良度の悪化が見られます。なお、判定外(活用済、更地又は瓦礫)は168件でした。

【令和2年度糸魚川市空家実態調査の判定件数】

(単位:件)

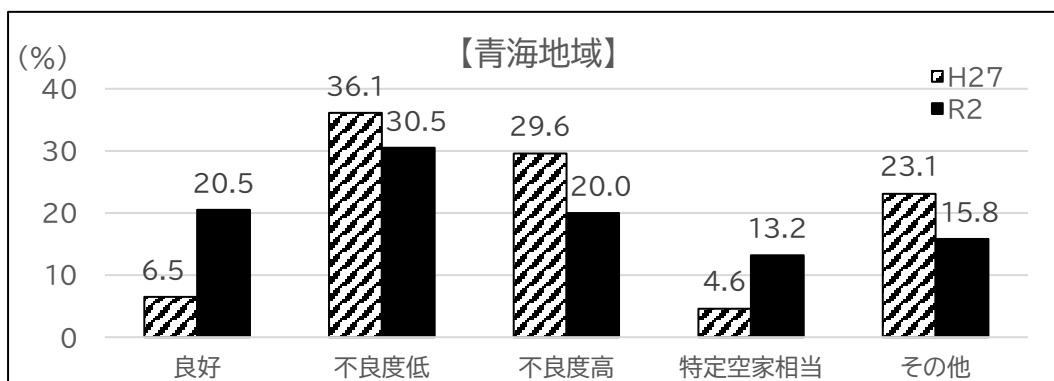
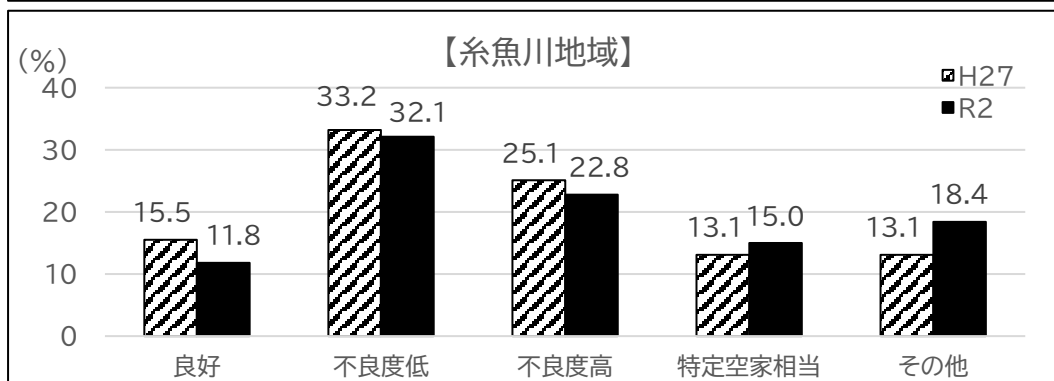
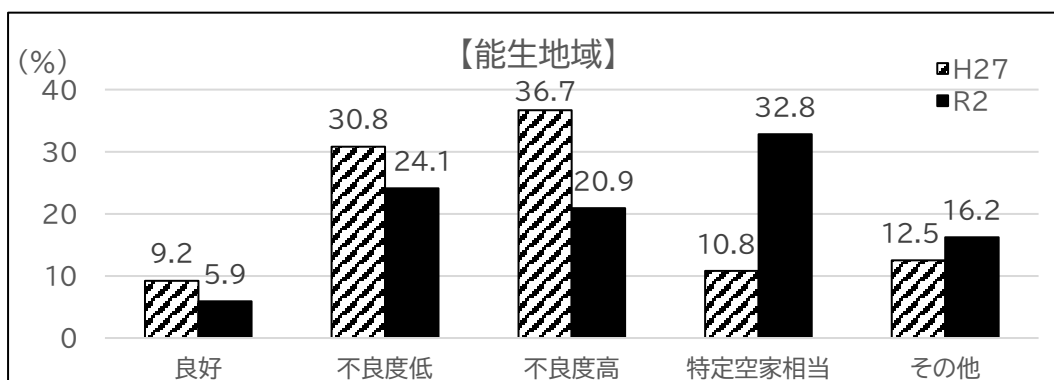
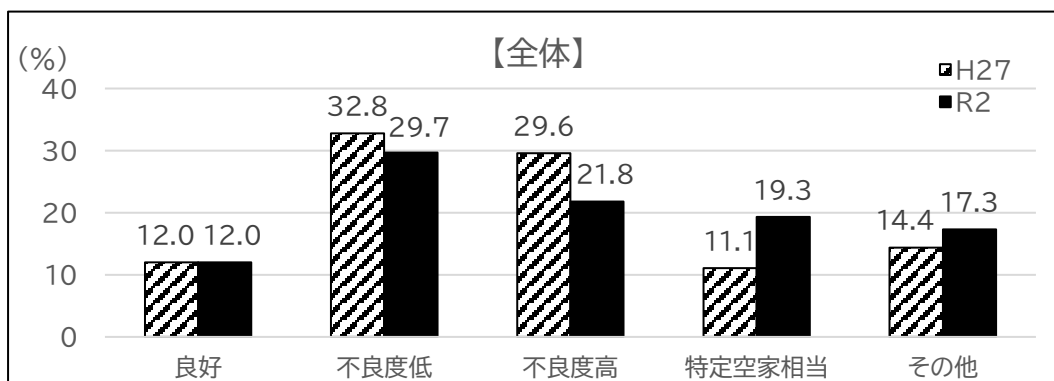
不良度区分		能 生	糸魚川	青 海	合 計
良好 (現状で利用可能)		15	62	39	116
不良度低 (修繕の上、利用可能)		61	169	58	288
不良度高 (老朽化しており、大規模な修繕が必要)		53	120	38	211
特定空家相当 (保安上危険又は衛生上有害のおそれがある状態)		83	79	25	187
小 計		212	430	160	802
判定外	活用済	12	51	21	84
	更 地	25	35	9	69
	瓦 礫	4	11	0	15
小 計		41	97	30	168
合 計		253	527	190	970

※調査方法等は、資料18ページを参照

【平成 27 年度調査との比較】

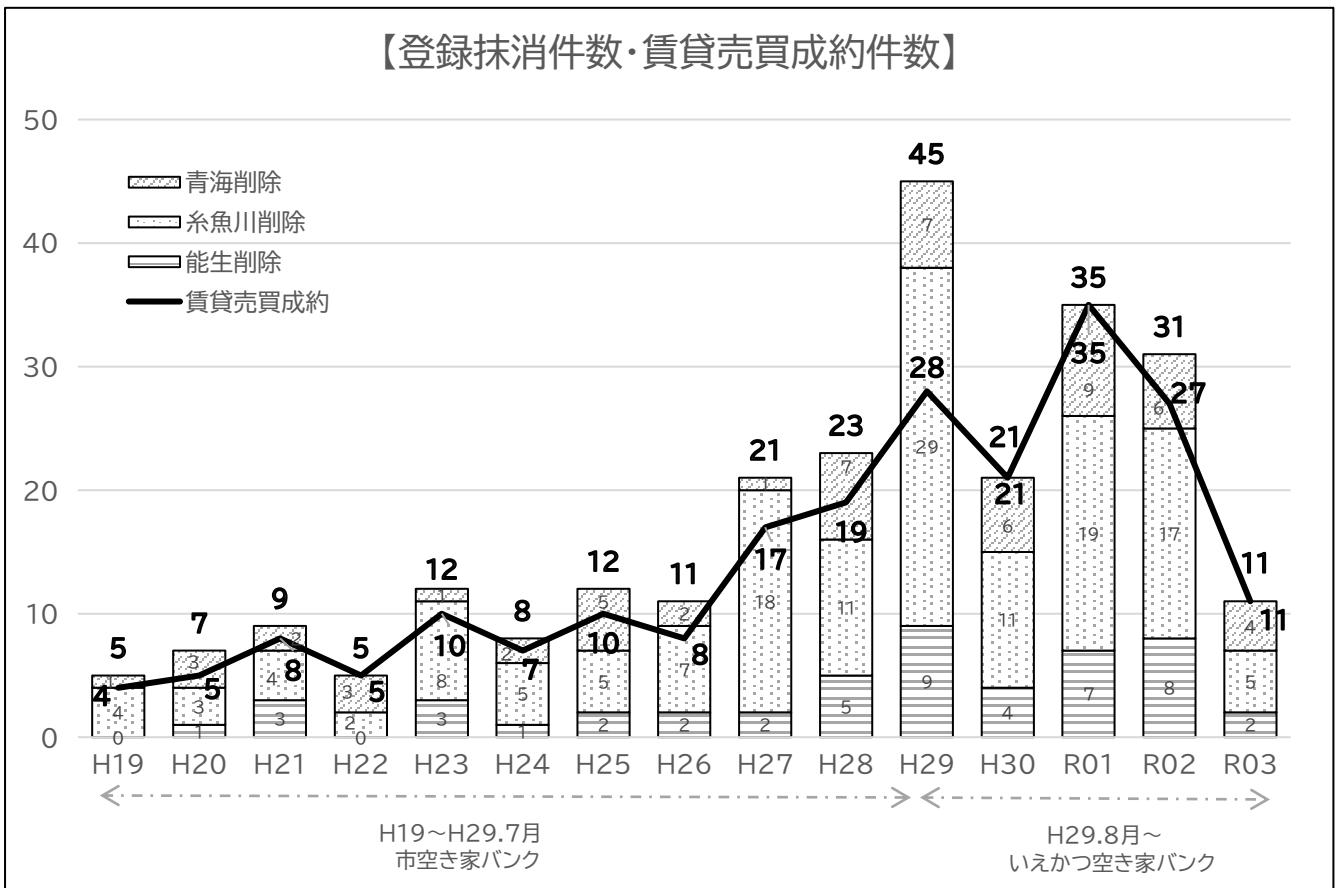
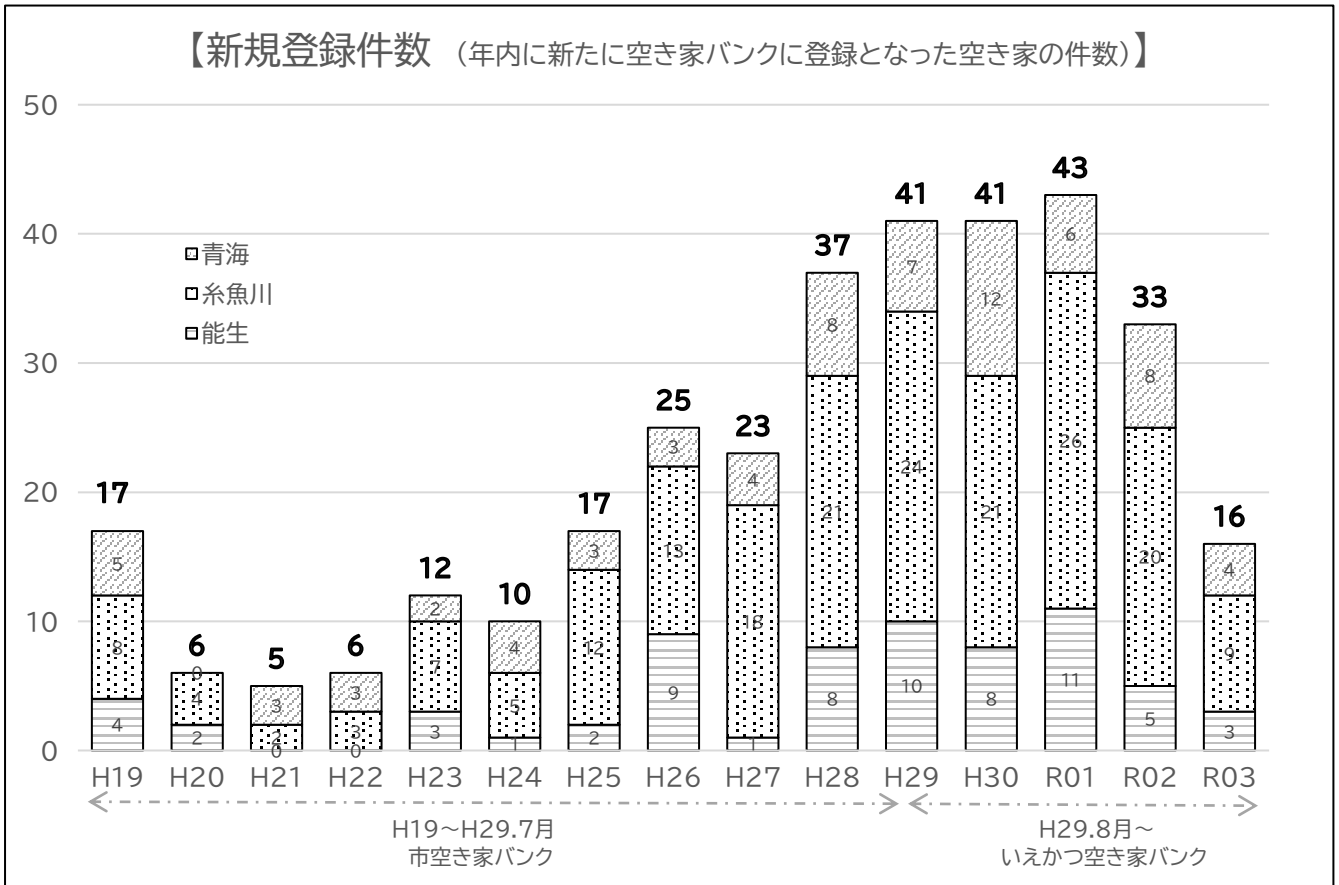
(単位:件)

不良度区分	能生	糸魚川	青海	全体
良好	△7	4	32	29
不良度低	△13	45	19	51
不良度高	△35	26	6	△3
特定空家相当	57	30	20	107
その他	11	48	5	64
合計	13	153	82	248

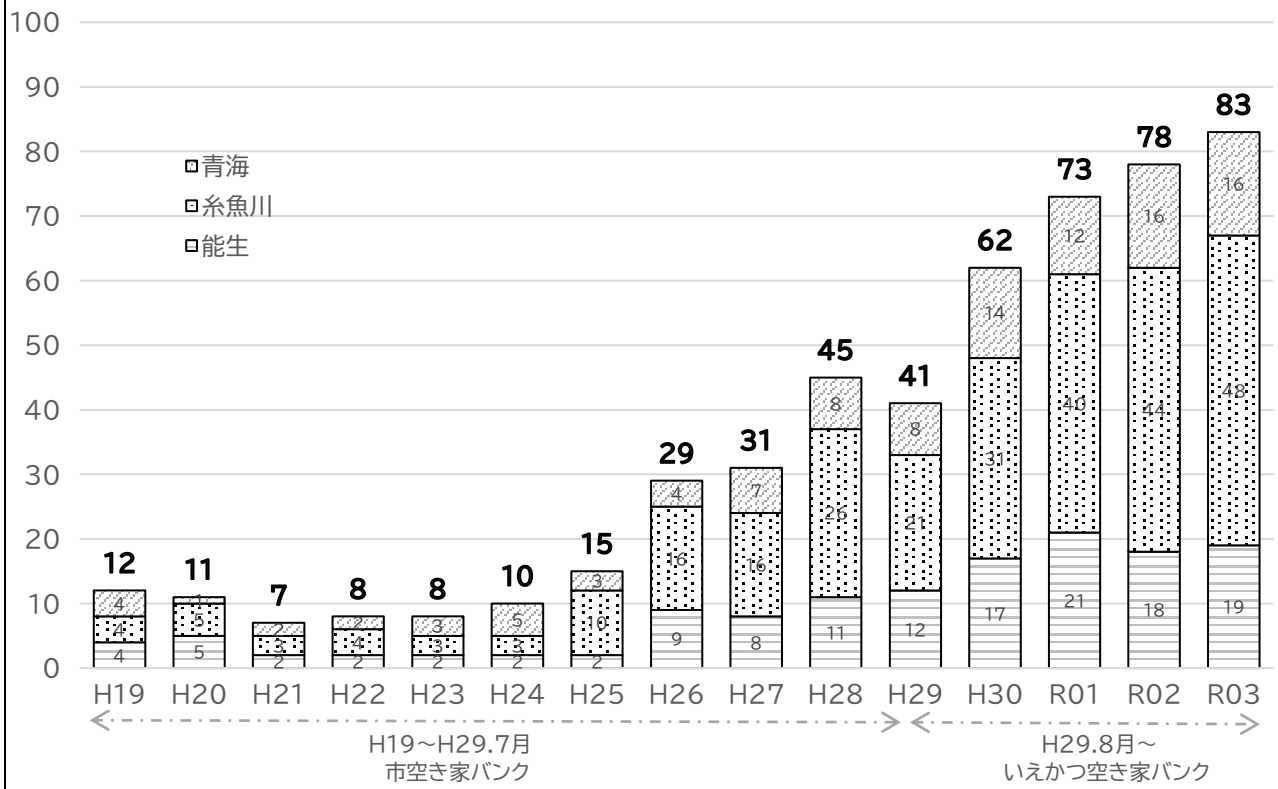


工 空き家情報提供制度(空き家バンク)の状況(令和3年6月末現在)

平成29年8月1日より、空き家情報提供制度(空き家バンク)の運営を一般社団法人空き家活用ネットワーク糸魚川(通称:いえかつ糸魚川)に移行。



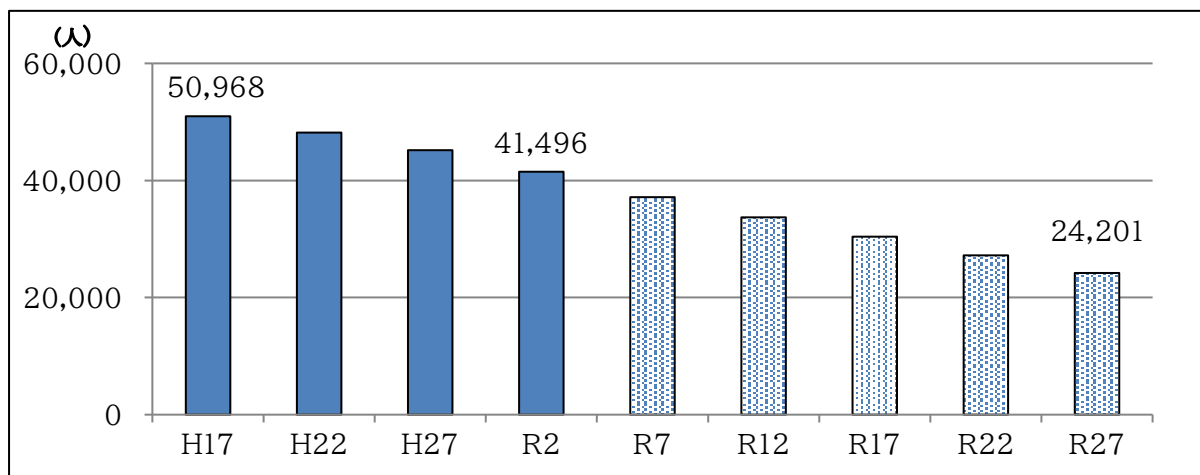
【年度末時点での空き家登録件数】



2 糸魚川市の人口の状況

(1) 人口の推移

本市における人口は、住民基本台帳によると、年々減少し、令和2年では41,496人となりました。また、国立社会保障・人口問題研究所が公表している本市の将来人口推計によると、今後、さらに人口減少が進み、令和27年には2万5千人を下回ると推計されています。

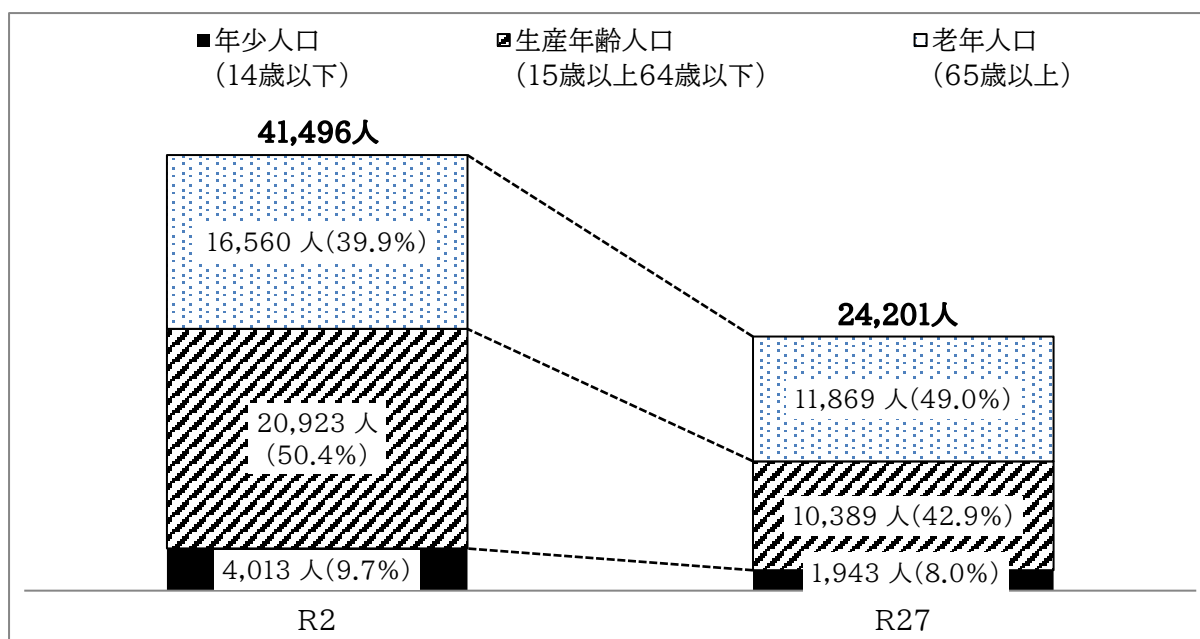


資料 住民基本台帳(平成17年～令和2年)

国立社会保障・人口問題研究所将来人口推計値(令和7年～令和27年)

(2) 年少者数及び高齢者数の推移

本市の将来人口推計によると、14歳以下の年少者数は、25年後の令和27年には1,943人となり、人口の8%にまで減少すると見込まれています。65歳以上の高齢者数は、令和27年には11,869人となり、全体の人口に占める割合が49%にまで増加すると推計されており、今後、少子高齢化がさらに進行するとみられています。



資料 住民基本台帳(令和2年)

国立社会保障・人口問題研究所将来人口推計値(令和27年)